



「SSH米国（グアム）海外研修」を開催しました

将来、国際的に活躍し得る科学技術人材の育成のための取り組みの一つとして、自然科学分野における英語コミュニケーション能力と国際感覚を育成し、「英語による課題研究発表会」に向けての学習活動のリーダーとなる生徒を育成することを目的として、「SSH 米国(グアム)海外研修」を実施しました。理数科2年生10人が、事前学習の上、1月6日～9日の日程で、グアム大学での研修に取り組みました。



研修では、科目「SSH研究Ⅱ」で取り組んでいる課題研究の英語プレゼンテーション、グアム大学の学生による研究のプレゼンテーション聴講、地球温暖化やマイクロプラスチック等についての英語ディスカッション、有明海の水環境の実態と対策についての英語プレゼンテーション、グアムにおけるサンゴ礁保全の研究活動についてのレクチャー受講、サンゴ礁保全のための植生回復の研究活動体験に取り組みました。

参加者の感想

- 「グアムのきれいな海にもたくさん問題があることを知ることができた。美しく見えるものの実態をよく考えるようにしたい。」
- 「どの地域にも、それぞれの特性による環境問題があり、環境を保全するために仕事をしている人がいて、自然を守ることができていることを知った。」
- 「世の中を、国がたくさんあると考えるのではなく、一つの大きなつながっているものとして考えることが大切だと感じた。多くの国の人と交流して、多様な考えを身に付けたい。」
- 「インターネットで調べるだけではなく、実際に話を聞くことが大切だと思った。その人の実体験を聞くことは必要なことだと分かった。」

本研修参加者は、2月の「SSH研究Ⅱ」の授業で理数科2年生に対して模範発表を行ったり、英語プレゼンテーションの経験をもとに教材「英語発表資料作成及び英語プレゼンのポイント」を作成して配布したりする等、次年度の「英語による課題研究発表会」に向けての学習活動に率先して取り組みます。理数科2年生の皆さんが互いに協力してよりよい学習活動とすることを期待しています。